

平成20年度 職場体験学習に関するアンケート結果

回答事業所数 144社

設問1 今年度からスタートした「教育委員会による職場開拓コーディネートシステム」は、皆様にとっていかがでしたか？ 番号と理由をお答えください。

[受入れ計画が立てやすくなった 従前と変わらない 従前(個々の学校からの問合せ)のほうがよい その他]

設問2 より良い体験のために、貴社が工夫されたことがございますか？

設問3 生徒の受入れにおいて、貴社が最もご苦労されたことは何ですか？

設問4 職場体験をより受入れやすくするために、地域でどのような取組みが必要だと思えますか？

設問5 その他ご意見、ご要望など自由にご記入ください。

H20 職場体験学習に関するアンケートのまとめ

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
サービス業 (5社)	サービス業1	1		・生徒の名前がわかるようネームプレートを作成した。		地域で子どもたちを暖かく見守り、育てていくという気持ちが大切。職場体験を受入れられない企業に、どうしたら受入れられるか問うことが第一と思う。	ネームプレートを持参していただけるとありがたい。
	サービス業2	1	年間のスケジュールの中で、受入れの可否の判断がしやすい。	生徒を、実際の婚礼問合せにみえたお客様に見立てて、館内案内、チャペル見学、ドレス試着、リムジン体験を通して接客の仕方を見てもらった。	消極的で質問がなく、何に興味があるのかわからず、説明が通り一遍のものになってしまった。	効果を上げるために、!どういう体験を学校や生徒が望んでいるのか、もう少し明確にしたらどうか。	
	サービス業3	1	・日程、人数の報告が事前にあり、よかった。 ・本人から連絡があり、事前の説明ができたこともよかった。	当社で行っている1業務が、学校で行うことができ、今行っていることであり、内容の説明もでき今後も継続してもらえ。実際に生徒と話す機会を持つことができた。(世界の子供ワクチンなど)	・男女差があり、力仕事は女子生徒には向かなかつたりと、仕事を選ぶことが大変。 ・必ず社員が貼りつくこと。	業種を選ぶ場合、誰もがきれい、格好いい場所を選ぶことは当然。どのような方法で受入先を紹介しているのでしょうか。仕事内容のきちんとした説明があったのかわかりづらい。	生徒たちの若さと元気で、社内が活気付いた点、とても好評だった。暑い時期の屋外作業だったが、前向きに取り組んでいた。5名の参加があったが、とても良い人数だった。
	サービス業4	2	特に変わった感じがしない。	自分の犬で体験させてあげた。	生徒につきっきりになってしまうこと。		興味がないのに、ただなんとなく来る生徒がいるので、やる気のない生徒には来させないでほしい。
	サービス業5	1	年間の中でおさえられるので。	生徒たちが仕事を見つけ、やりたいことをする日と、こちらからテーマを作って仕事をしてもらう日を作った。	遠方のため、生徒が来る足の面。		
医療機関 (7機関)	医療機関1	1		生徒に体験内容の希望を聞いて取り入れた。	5人で受入れたときに統制がとれなかった。少人数の受入れが良いのではと感じた。		
	医療機関2	1	準備段階から情報をいただきありがたかった。	希望する仕事以外にも、様々な専門職の働く姿を見せてあげた。	他の中学と重なってしまい、人数が多くなり申し訳なかった。		
	医療機関3	1	年間を通しての計画がわかるので、準備しやすかった。	できるだけ患者さんと接する機会を多くした。		地域での受入れ企業をもっと増やすように働きかけたらどうか。	
	医療機関4	1	事前に予定がわかるので、部門間で調整できてよい。	医療専門職としてチーム医療を行うため、病院内の各職場の見学と説明を受け、他職種の理解を図った。	実際に体験できることが限られ、見学することが多くなりがちのため、職員に付いて行った。		
	医療機関5	1	中学校ごとで、それぞれの方法で対応するよりはるかに良い。	体験したい職種ごとのメニューを行った。	・担当者の配置と窓口の配置。 ・期間とテンポが学校ごとに違うので、メニュー作りが難しかった。	医師、看護師不足は、この地域の大きな課題なので、めざしてもらえるような意識、戦略が必要と思う。	・下伊那郡下全域の調整を希望する。 ・事前訪問は電話で十分かと思う。

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
医療機関	医療機関6	1		・できるだけ現場の体験ができる体制をとった。 ・職場体験では、他職種の紹介、進路の説明を加えた。	安全面。	業種ごとの受入れプログラムのモデルを作成したらどうか。	取り組む姿勢や学習目的等、もう少し配慮していただきたい生徒もいた。特に言葉使いや現場の指導をお願いしたい。
	医療機関7	1	期間中の把握ができる。	興味ある部署で経験してもらおうにした。			学校や生徒から、受入先に対する意見や要望があれば、ぜひ教えてほしい。
介護福祉 (37施設)	介護福祉1	1		作業的なことばかりでなく、入居者との関わりが持てるように工夫した。	グループが複数あるので、グループの担当を明確にした。最終日には、感想や困ったことなどを聞く時間をとった。		
	介護福祉2	1		利用者さんとのコミュニケーションをとってもらうこと。積極性を引き出すなど。	どのようなことを体験させたらよいかわからない。	どんな仕事が行われているのか知らせる。	中学生に生きた社会勉強してもらうことは、社会の一員になるための第一歩であり、非常に大切。
	介護福祉3	2		中学生扱いせず、一人前の職員と同じように利用者へ接してもらった。	利用者の方に中学生が関わる事を承知していただくこと。利用者と中学生と両方に気配りをしなければならないこと。	一ヶ所だけではなく、違う職種を何ヶ所か体験できるプログラム	事前に中学生が体験する職場を下見して、どんなところか、どんな仕事をしているか、実施するにあたって注意する点、また、中学生はどんな考えを持ってこの職場を選んだのか、前情報を交換する必要があると思う。
	介護福祉4	1	細かく連絡いただき確実な受入ができた。	複数日間の体験だと、日々の反省と次の目標等を一緒に検討できた。	生徒の目的、目標をできる限り達成できるよう努力した。		職場体験は、体系的に時期や期間を考慮できると良い。
	介護福祉5	2		目的などを確認し、お年寄りに関わってもらった。	目的や目標がはっきりしていると良い。	目的をしっかりと説明。	
	介護福祉6	1	事前に検討したうえで受入れることができた。	利用者様との交流を中心に体験してもらった。視覚障害者の基本的な援助方法を理解してもらった。	毎日、担当職員を貼り付けなければならなかったこと。		
	介護福祉7	3	学校の計画に、学年別のダブリ等がなくなると思われる。	デイリープログラムの作成	あいさつ、返事ができない。自己紹介もうまくできない。	「地域」の意味がはっきりわからない。	当事業所では、1人の受入れが限界である。
	介護福祉8	4	近隣以外の複数の学校の生徒と関われてよかった。	事前に学習してきてほしいことは伝え、心構えをしてきてもらった。老人の方々とコミュニケーションを取りやすくするための橋渡しをした。	積極的でなかった。こちらでやってほしいことを言わないと動けなかった。個々で目標はきちんと持っているのに、もったいない。	職場体験学習に臨む姿勢を生徒さんたちに確認していただきたい。受ける側は未来ある若者たちに時間を割いて真剣に取り組んでいる。	受身の姿勢でなく、自主的に来てほしい。
	介護福祉9	1	事前に準備ができた。	事前に体験してもらう療育音楽の内容を学校に知らせた。	交通の便が悪く、来てもらうのに大変だったと思う。	受入れる側もわかりやすくしたほうがよい。地域に知ってもらえるように。	今年は、事前に先生と打合せができてとてもスムーズだった。

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
介護福祉	介護福祉10	1	事前の打合せができて、以前よりスムーズに受け入れられた。	利用者の方とより良いコミュニケーションがとれるよう時間を設け、歌や折り紙、ダンス等を行った。毎回30分程度の反省会や質問の時間をとった。	毎回担当者を貼り付けなければならなかったため、担当職員への引継ぎ等の時間や方法に苦労した。	職場体験学習の趣旨をもっと地域にアピールし、受け入れを拡大していくことが大切だと感じる。	中学生との打合せの時間がとても大切だと感じた。生徒さんの情報を知ること、助言や指導が職員間で統一できた。
	介護福祉11	3	事前の打ち合わせがおもように出来ずご連絡を頂くことが多かった。(学生から直接問い合わせがあり困惑しました。出来れば担当の先生よりお話を頂きたい。)	送迎と一緒に連れて頂き、その方がどのような生活をされているのかを感じて頂く。(玄関までですが。)行事の時に一緒に参加して頂いたり中学生に紙芝居や将来の夢を発表してもらいました。	ご利用者が少ない日に中学生の生徒さんが3人来られ人があふれてしまう状況があった。服装などの乱れている生徒さんがおられ注意を促すのに苦労しました。	先生に事前に一回来て頂き、事業所の考えなど聞いて頂きその上で実習に入ってもらえると助かります。連絡調整を先生に行っていただきたい。	2回目になり以前よりスムーズになりましたね。中学生の意欲がある子とない子の差が見えます。学校で福祉について学習してほしい。
	介護福祉12	1	システムの流れの中で、一部の部分を事務局が行い、一部の段階でいきなり現場に学校から直接打ち合わせの連絡が来るためわからない。答えようがない。	限られた時間・回数で利用者様と馴染んでもらうため、昼食や休憩は利用者様たちと同じ場所で一緒にしてもらった。	仕事的内容的に生徒さんにやってもらえることが少ないため、2~3人がまとまっての体験だと普段の仕事プラス生徒さんに体験してもらえる事を余分に考えなくてはならない(そうしなければ生徒さんが時間をもてあましてしまう)ため大変。	体験期間中に最低限これだけは体験させたいというプランを個人でも、学校でも、あるいは業種毎でもいいので作成すると受ける側も体験する側も充実させることができるのではないか？	体験に来る生徒さんがその段階でどんなことをしたいのか伝えてくれると受け入れ側も受けやすい。そうしないとただお掃除などの雑用をしてもらうことの方が多くなってしまわないかと思う。
	介護福祉13	1	複数校の重複が避けられた。	各体験者にネームを付けてもらった。	有効な体験になるようプログラムを作成した。		
	介護福祉14	2		研修してもらう内容を生徒と決めた。			
	介護福祉15	1	受け入れ人数の調整ができる。	生徒たちが得意とすること、できること等を事前に聞いて、職員がそれを引き出すようにしている。		受け入れ業種ごとの話し合いを持ってみたいだろうか。	
	介護福祉16	1	個々の学校との連絡調整が省け、一括的に調整できてよかった。	利用者との交流を深めていただくために、折り紙等の工作を一緒に行った。作品を、園の文化祭で飾った。	山での原木の選り出し作業等で、安全配慮に注意した。		体験する職場がどんなところなのか、事前学習も大切かと思う。
	介護福祉17	1	早めに予定が立てられた。		バスの時間でバス停まで送迎しなければならなかったこと。		飛び石ではあったが、同じ子が2回来てお年寄りとのふれあいが少し慣れてくれてよかった。
	介護福祉18	2					
	介護福祉19	4	飯田市だけがこのシステムになっていることを知らず戸惑った。慣れてくれば問題ないと思う。	生徒のプロフィールを自ら作成してもらった。勤務上、担当者が固定できないため、有効活用できた。		下伊那北部の中高生から要請があり、希望が重複した場合の選択に困る。飯伊全体のシステムになれば良いと思う。	
介護福祉20	4	教育委員会でとりまとめをすることでいいが、その後の学校ごとの連絡の取り方がまちまちで、ある程度統一されるとわかりやすいと思う。	個人のプロフィールを事前にいただいた生徒について、それぞれの特技などが活かせる場を作った。	目的がはっきりしない。どこまでを伝えたらよいか、何をやってあげたらよいか迷った。		学校により事前打合せの仕方がかなり異なった。旭ヶ丘中学校の方法はとても親切で、受け入れしやすかった。	

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
介護福祉	介護福祉21	1	全校の日程が把握でき、重複しなくて良い。	・運動会等の行事でスタッフと一緒に仮装したりして雰囲気味わってもらった。 ・クラブ活動に参加してもらい、生徒が作った作品を文化祭に展示した。 ・広報誌に体験学習の感想文を掲載した。	福祉の職場を自ら希望して参加したわけではない生徒に対して、やる気の引き出し方が難しい。	福祉に対して“3K”のイメージが強い生徒も多く、介護や福祉について理解を深めていただく活動、取り組みが必要だと感じる。	学校によっては生徒の履歴書を送付していただくところもあり、計画が立てやすくよかった。生徒の勤務評価などは、後日にしていただけるとありがたい。
	介護福祉22	1	窓口が一つになってわかりやすい。	校歌、劇、紹介等、自分たちをアピールすることをやってもらった。	服装等注意しなければならなかったが、その他はよく動いてくれた。		
	介護福祉23	1			生徒のモチベーションが低く、職場体験の意義を考えさせられながらプログラムを組むこと。	義務的に「介護を学びましょう」というのは無駄が多い。体験学習以前の意識付けが必要に思う。プログラムのモデル作成は良い。	あいさつもされず、1日やる気もなく、仕方ないので来た生徒もいた。それでも大切なことなのか悩む。
	介護福祉24	1	事前に日程等の連絡があり、ありがたかった。				
	介護福祉25	3	受入れ計画が立てやすい。	利用者様が作業療法で作っている作品と同じものを作る体験をした。	短大、ヘルパー実習との調整	職場での体験の様子を情報発信	
	介護福祉26	1	事前に、どの学校の体験があるかわかることで準備しやすくなった。	なるべく沢山のひとと話ができるよう、自分の方から声をかけて、会話を楽しんでもらった。	現場の機材が難しいものなので、自主的に体験させてあげられなかった。また、空き時間ができてしまった。	今回のようにして、もう少し様子を見てみたい。	
	介護福祉27	1	計画的に受入れができるようになった。	計画された実習以外の、土日の作業に希望者で参加してもらった。	自主的に過ごしていただくことができた。	見学や、通所メンバーさんと一緒に作業を通じて、理解を深めたと思う。	生徒はみんな一生懸命取り組んでいた。
	介護福祉28	1	事前に、学校・本人から自己紹介や職場体験の決意、考えなどを聞き、学校・本人の意気込みを感じた。	利用者の予定表を見てもらい、コミュニケーションを図れるようにした。	利用者も緊張することがなかったようで、スムーズに入っていたように感じた。	毎日利用者が変わるので、職員の見る予定表を見ていただいた。	
	介護福祉29	1	個々の学校と対応しなくても済むので、楽になった。		どの様な業務を体験してもらおうか、担当者を割り当てて検討させたが、人員不足のため大変だった。	業種ごとの受入プログラムの作成。	何をどこまで体験させたらいいのか、判断が難しい。学校からは掃除でも何でも良いといわれた。
	介護福祉30	1	体制表を作るうえで、あらかじめ予測できる。	あらかじめ利用者の情報を伝えた。	・やる気のない生徒への対応が難しい。 ・特殊な業務であったり、個人の家に向うため、気遣いが多い。 ・担当者を一日付けなければならない。		訪問介護という利用者宅での体験学習は、単なる振り分けで研修に来てても、対応が難しい。
	介護福祉31	1	早めに予定が決まり、年度計画が立てやすい。	高齢者の交流する場面を多く取り入れた。	高齢者と生徒の対面するとき。最初は高齢者がリードする場面が多く、助けられた。		子供たちと直接話をしてみると、みんな明るくはきはきして気持ちいい子ばかりだった。
	介護福祉32	2		同行などを行い、現場体験を多く取り入れた。	1日の中で、体験が実のあるものになるよう工夫した。		こちらの良い勉強ができた。

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
介護福祉	介護福祉33	1	次に来る学校名を事前に教えていただき、計画を立てやすかった。	お年寄りと話をするのは、簡単そうに見えてとても難しいことなので、ゲームや本を読むことを通して、お年寄りと気軽に話ができるよう配慮した。	日々の業務に追われてしまい、職員が十分な対応ができなかった。		他の企業での取り組みについて知りたい。他の老人福祉施設では、どのようなプログラムで受入れているのか。
	介護福祉34	4	学校は大変楽になっているのでは。教育委員会は大変な手間になっているのでは。	ありのままの中で実習してもらっている。	怪我等安全面に関する事は、注意を極力払う。	こうした活動が、行事化、形式化しないような取り組みが必要ではないか。	
	介護福祉35	1	情報を早くもらえるので、計画が立てやすくなった。	レクリエーションの時間を担当してもらった。生徒たちに事前にレクリエーションを考えてきてもらい、利用者様との交流が深まっている。	数人で体験に来ると、どうしても仲間で固まってしまう。また、服装面でも、腰パンなどの生徒が多く、指摘するがなかなか直さない。		生徒によっては、仕方なく来ているという姿勢が見られる。特に福祉体験で来る場合には、事前学習も大切ではないかと思う。
	介護福祉36	3	飯田市からの受入だけではないのと、学校により方法が違うことで、多少の混乱があった。	中学生でもできることをやってもらったり、日常と違うプログラムを取り入れた。	利用者が重度化しており、中学生がコミュニケーションとるのが難しい。		
	介護福祉37	3	直接学校からの問合せのほうが、話が早い。しかし、このシステムでも問題はない。	事前に受入計画を立てた。	介護で手一杯の状況で、その上に生徒の受入もあり、スケジュール調整に苦労している。	地域で職場体験受入職場の申し込みをして、幅広い職場で受入れてもらえるといい。	子供たちにとっては良い体験だと思う。
児童福祉 (15施設)	児童福祉1	3	飯田市以外の学校からの問い合わせも多くあり、兼ね合いが難しかった。	人見知りする子どもたちの中で、絵本や紙芝居を読んでもらった。	プライバシーの保護		もう少し早めに連絡用紙をいただきたい。わかりにくい点もあり、改良してほしい。
	児童福祉2	2	どちらでも大丈夫だった。	前もって職員間で受入を確認しあう。			
	児童福祉3	2	特に問題なかった。				
	児童福祉4	1	事前にある程度確固(受け入れ)の予想がたてられたので。	一人一人が自分の力を発揮出来るよう、一人一人別のクラスに入ってもらった。	最初かなり緊張していたので気持ちをほぐしてやる事。	保育園ではいつでも受け入れ大歓迎です。	
	児童福祉5	1	前もって知らせて頂けるので有り難い。	視察や補助だけでなく、実際に絵本や紙芝居を子ども達に読み聞かせる等の体験をしていただいた。	気を使いますが特に苦労することは無く、手助けしてもらうことが多く逆に有り難い面もありました。	業種毎に受け入れプログラムのモデルを作成したらどうか。	特になし。子どもって可愛いなと感じたり、子どもと接することを少しでも多くの生徒さん達に体験して頂き、将来親になっていく為のお役に立てればうれしいです。
	児童福祉6	1	保育園の年間計画と合わせて、受け入れ計画が立てられる。	・体験学習の途中で、感想や困っていることなど、話をする機会をつくり、アドバイスをした。 ・体験学習の始まりと終わりの日に、子供たちへ自己紹介や感想など話してもらい、全園児と親しくなれるようにした。	自分の思っていることを話さなかったり、静かにしている時、何に戸惑っているのか、どう対応してあげればいいのかわからなかったこと。		・園児と過ごすことで、保育士の仕事内容を理解してもらうこともでしたが、生徒さんが徐々に明るく柔らかな表情になっていったのが印象的だった。 ・実習日誌で、生徒さんの心情を知ることができてよかった。

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5	
児童福祉	児童福祉7	1	計画を立てやすくなった。	1人1冊ずつ絵本を選び、2日間午睡前に読んでもらった。年齢を自分で選んでクラスに入ってもらった。			学校により日数の差があるので、多いところは学習に影響がないか心配になった。長さより中身、何を学ぶかが大切なのではと思う。	
	児童福祉8	1	年間計画を立てやすく、無理がなかった。	受入れ職員の打合せ会を持った。			学校によって担当者が記入する用紙があり、生徒からの提出が遅く記入時間がとりにくく困った。朝のうちに提出してほしい。	
	児童福祉9	1	学校からの丁寧な対応に感心した。	担任の手伝いを通して学ぶ体験ができたと思う。(子どもとのかかわり)	個人情報、安全面に関して			
	児童福祉10	2		一緒に遊ぶ、掃除の手伝いをする等具体的な指示をその都度出した。	子どもによって毎回同じことを繰り返し指示しなければ動けなかった。	具体的なプログラムがあるといい。		
	児童福祉11	1	こちらの希望を記入すれば、教育委員会で調整していただけるのでありがたい。	・園児たちには、「お兄さん先生」「お姉さん先生」と呼ぶよう指導したので、生徒の意識が違ったのではないかと。 ・園児への読み聞かせの本を持参してもらい、クラスで読んでもらった。	保育者は、園児と中学生とのコーディネーター役であるが、園児の発達状態や接し方など事前に伝えたいので、体験希望のクラス(年齢)を明確にし、生徒側から伝えていただけるとありがたい。	・保育体験指導者を育成していただける場があると良い。 ・中学生の保育体験で、何が育ち、どのような配慮が必要なのか、受け入れ側として認識しておきたい。	保育者と生徒との間で事前学習を行えると良い。その導入として先生との具体的な打合せができると良い。	
	児童福祉12	1			コミュニケーションの取りにくい生徒と園児のパイプ役。		学校によって取り組み方がずいぶん違っており、受け入れ側も勉強になった。	
	児童福祉13	1	計画を立てやすい。	事前に先生から生徒の得意なことを聞いた実習に役立てた。	生徒がけがをしないう、また、園児に危険が伴わないよう配慮した。		生徒がどんなことを学びたいのか、何をしたいのかをはっきりさせて職場体験に臨むと有意義な体験になると思う。	
	児童福祉14	1	こちらの予定に合わせて受入を選ぶことができるので助かる。	・子どもたちの様子を通して、生命、性、親子、家族について話す機会を持った。 ・直接子供には触れない「かげ」の仕事も体験してもらった。			体験を生きたものにするために、3日は必要だと思う。	
	児童福祉15	1	園の事業と合わせて、先に見られるのでありがたい。	園児の前で発表する機会を設けた。	園児への対応方法の指導。		これからも園児とふれあう体験をしてほしい。	
	障害福祉 (4施設)	障害福祉1	4	今回初めてだから。	障害を持った方と一緒に仕事をしてもらい、仕事上でのハンディキャップ等を認識してもらった。	養護学校、特殊学級等ではあるが、生徒の受入れは以前よりしている。		不況の影響でセンターの仕事量が2~3割減少してきている。仕事確保で精一杯の場合はお断りする場合もある。
		障害福祉2	2	日程調整をどこで行うかの違いだけで、あまり変わらない。		今まで都合のつく限り受入れてきたが、入所している子どもが不安定になる姿があったため、受入れを控えたい。		
		障害福祉3	1	計画的に受入れできるようになった。	計画された実習以外の土日の作業に希望者に参加してもらった。	自主的に過ごしてもらうことができた。	通所メンバーと一緒に作業してもらい、理解できたと思う。	一生懸命取り組んでいただいた。

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
障害福祉	障害福祉4	3	連絡が重複しない。	オリエンテーション、反省会の開催。		3日以上連続のプログラム作成。	
官公庁 (13所)	官公庁1	4	学校の予定が事前に把握できることは良いが、署の計画は2ヶ月前に定めるため、当初の受入れに伴う回答がしにくい。	普通救命講習を受講してもらい、命の大切さや相互扶助の意識を持ってもらえるよう工夫した。	訓練中における安全管理。体験学習中の保険加入状況を知りたい。	3ヶ月以上先の予定で、お互い調整する。	災害出動時の生徒対応に苦慮する。
	官公庁2	1		何かしら作業を伴うことをしてもらい、またなぜ、その作業が必要なのかを説明しています。	職員体制が手薄な時の受入。監督者は少ない人数の中からさかなければならない時。		
	官公庁3	2	業種柄、本来の職場体験とは異なり、業務内容の講習となるため、2日間の受入れができない。	業務の中で、実体験出来得る鑑識作業時間を多くしている。	体験人数に関係なく、担当者配置は必要なため、急な事件発生の際は対応しにくい。		警察への希望者が各校4～5名くらいで申し込まれると良い。
	官公庁4	1	決められた職員数の中で出動体制をとらなければならないため、事前計画を立てやすく良い。	訓練が主体となる。生徒には、できるだけ多くの訓練体験をさせた。	受入れ人数が多くなれば、訓練時の安全管理等の人員を確保しなければならない。		
	官公庁5	4	職場体験学習の受入れが今年度初めてだったため。		受入れのための業務を作成しなければならなかった。		仕事上会議が多いが、会議への出席は生徒もこちら辛いものがある。
	官公庁6	1	事前に日程がわかり、予定を立てやすい。	美博の仕事内容を理解していただくことができた。	休刊日、行事があり、受入れる時期、時間が合わないこと。		どんなことに興味を持っているか、記入いただくと受入れやすい。
	官公庁7	1	・市内全校の日程を事前に把握することができ、年間計画を立てやすくなった。 ・職場体験学習の日程に合わせて、体験可能な業務など計画を立てやすくなった。	・合同庁舎内の他の職場を紹介しながら、公務員の職種や税金の使い道などについて理解する場を与えた。 ・あいさつを重視し、他の職場へ自己紹介を兼ねてあいさつ回りをした。	・体験日すべてにおいて、担当者を充てなければならなかった。 ・担当する工事現場が下伊那郡内のため、現場まで遠いことや現場での安全面に気を遣った。	・数校受入れたが、学校によって事前打合せの方法が異なるため、市内統一されるとありがたい。	・学校によって取り組み方、考え方に差があると感じた。行事的に捉えている学校もあった。 ・受け入れ側の真剣な気持ちや期待を学校側も感じ取り、厳しい社会状況を先生方にも理解していただき、それを生徒に伝えていくような学習を望む。
	官公庁8	1	・体験日、人数が一目でわかる。 ・複数校重複した場合の調整の必要がなくなった。	・職員の受入体制を朝礼等で確認した。 ・生徒が取り組んだパスファインダーを実際に館内で活用したり、学校で使ってもらえるよう持ち帰ってもらった。	・担当者が説明したりするため、通常業務が遅れた。 ・カウンターでの貸出、返却業務は、利用者の中に快く感じない人もおり、理解してもらおうこと。	既に基本的なプログラムを作成して、それに基づいて実施している。そのようにすれば、負担が軽減され、効率的に実施できる。	同時期に複数の学校が重なることや、多忙な夏休み期間は避けていただきたい。

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
官公庁	官公庁9	1	・こちらの都合の良い時期に受入れができる。 ・生徒の関心事を前もって把握できる。	・古文書の整理作業をしてもらうことで、事業の大変さと同時に生の史料に触れて、その重要さ、おもしろさを知ることができた。 ・机上の体験ではなく、フィールドワークを行い、実物に触れてもらった。	・フィールドワークの手配や、どの作業を体験してもらうか考えるのが大変。 ・整理委託中の古文書を扱うので、担当者が貼り付いていなければならない。 ・受入人数は3人が限度。	事前に職場のパンフレットや写真付きの案内を作って学校に送付し、職場をイメージしやすくしてはどうか。	・竜峡中のように、夏季・秋季の2回に分けて体験させるのは、時期による仕事の変化を体験できて良い。 ・研究職を希望する中学生に体験してもらった仕事は、中学生としては優れたものだった。 ・こちらが記入する学生の評価表の項目に「大きな声であいさつした」等とあるが、当然のことなので評価すべきことではないような気がする。 ・体験後の生徒からの礼状は、自分の言葉で書いてほしい。
	官公庁10	1	個々の学校からの問合せに比べ、かなり事前からの受入準備ができる。	・より多くの動物に接する機会を与え、多種多様な生態に触れてもらう。 ・お客様に説明してもらうことを通じて、人とのコミュニケーションの場を設けた。	担当者、職員が貼り付けになってしまうこと。	生徒の目的意識、意欲の向上を更にしてもらえると、受入れる側もやりがいを感じる。	飯田市外の中学校との兼ね合いがうまくできたらよい。
	官公庁11	4	今年は体験学習の希望がなく、教育委員会のシステム化の影響とは思えないが、該当なしのため、回答は保留。	Q1に同じ	Q1に同じ	業種ごとの受入プログラムのモデルを作成ということは望ましいが、労力的に可能かどうか。	
	官公庁12	1			職場体験に適する仕事を探すこと。	他の職場では、どのようなスケジュールや内容で受入れているか、情報の共有ができると良い。	
	官公庁13	1	受入予定が前もってわかり、予定が立てやすい。	仕事内容を理解していただくことができた。	休館日、行事があり、受入れる時期、時間が合わないこと。		どんなことに興味を持っているか、記入していただくとうれしい。
教育機関 (4機関)	教育機関1	2	学校で受入れる場合は、中学校と直接連絡を取り合うことで時間や手間が省ける。	校長と面談の時間を設け、志を高く持たせることに心がけた。担任以外の職員の仕事も体験させ、様々な教育活動にふれさせた。	個人情報を知られないようにすること。出身学校でないことが望ましい。	生徒の求めることや、中学校のねらいを明確にして、それを達成できる事業所選択ができるだけ幅広くできるシステムが必要である。	事業所決めは、生徒が探すことを優先するのか、それともねらいを達成できる事業所を指示してやるのか、教育効果も異なるように思う。
	教育機関2	1			体験学習に目的を持って望むよう希望したい。	飛び石での学習になると、毎回初めてでわかったかどうか不安な面が伺えた。	調理場は腸内細菌検査が必要だが、連続での日程のほうが料金が安い。
	教育機関3	1	2校だけだったが、時期が重ならず、人数も多なくて、スムーズに受入することができた。	日数が少ないので、同じ学級に入っただけ、少しでも成就感が得られるよう配慮した。			
	教育機関4	2	中学校との打合せで具体的な話が進むので、仲介していただくことがさほど影響しない。	生徒の希望も聞いて、体験内容を組んだ。	各々の性格があるので、生徒本人を理解しながら、励ましながら進めた。	モデルとなるプログラムの作成は良いと思うが、受入れる企業をたくさん確保することだと思う。	

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
金融機関 (4機関)	金融機関1	1	・事前に生徒の希望や学校の要望が把握できる。 ・職場での受入れ態勢が調整できる。	受入れ場所の一つが、小規模店舗であったため、3人の生徒を他の事業所を含め日替わり交代で体験してもらった。	金融・共済の職場では、個人情報の保護やセキュリティの問題があり、結局は業務内容の説明、渉外活動への動向など単純作業となってしまった。	・できるだけ地区内の生徒の受入れと地区の皆さんのご理解が必要。 ・業種ごとに体験プログラムのモデルがあれば受入れやすい。	
	金融機関2	2	本年度は受入なし。昨年までは高陵中のみ受入れていた。	・銀行業務全般について、系統立って理解してもらえるようなテキスト作り ・模擬紙幣による札勘定体験 ・本物の札束(1億円入りジュラルミンケース)を持つ体験	個人情報保護法の施行により、顧客情報があふれている店内の案内が不可となり、現場見学ができなくなった。		
	金融機関3	4	従前がわかっていないので、変化はわからないが、特に問題はなかった。	2日間の中で単一業務で終わらせないよう配慮した。	JAを理解いただける体験をさせてあげられるか。		生徒たちが自らJA職場体験を希望してくれているかどうか。
	金融機関4	4	今回初めてだったので、どちらともいえない。		JAは業種が多いので、全体がわかってもらえるか心配。		
建設業 (6社)	建設業1	4	当社と致しましては、今年度(20年度)初めての試みですので比較できません。	特別になし。(職種が多いので、その説明程度)建設業の仕組みについて一時間くらい事前説明の後現場へ。	中学生が建設業について、事前に知識をもって望んで頂くと説明しても、多少理解の仕方も違っていたと思うが。		
	建設業2	1	受入れ計画が立てやすくなった。	建設業は形として残るものなので、達成感を味わえるよう、重機に同乗させたり、測量したり、設計図面を描くなどの体験をさせた。道路が開通したり、建物が完成すれば、研修の思い出になる。	現場は危険が多いため、安全面に特に注意した。担当者の貼り付けが必要のため、2日間という短い期間になってしまう。	教育委員会から建設業協会への働きかけ、他社も参加できる環境づくりが必要ではないか。	中学生のうちから建設業に興味を持ってほしい。良い種まきができるようPRが必要。
	建設業3	1	個々の学校からの問合せだと調整が利かない。	仕事の様子を写真で記録した。	・担当者が必要 ・安全第一で目が離せない。		・学校側も事前の業種の勉強も必要かと思う。 ・3～5日間の体験となると、受け入れ態勢が整わない。
	建設業4	1	特に不便を感じなかった。	安全の重要さ、お客様への心など、意識の徹底	こちらからの問いかけに明確な応答のない生徒が増えている。返事ができない、わからないのに質問しないなど。	良い工夫をしている事業所の内容を公開していただき、参考にしたい。	生徒個々の意識の差があるので、底上げをお願いしたい。 意欲、意識の低い生徒に無理やりやらせても意味がない。
	建設業5	1	前もって気持ちの準備ができた。	設計から施工、管理と全体を体験できるよう考えた。	担当者が少し忙しくなった。	事前に会社の内容を親や先生がHPなどで知っていただくと良い。	
	建設業6	1		簡単な機会を一台任せしたが、一生懸命やってくれた。	生徒向けの仕事を考え出すのが大変。	仕事の機械化が進んでいるので、生徒向けの仕事が少ない。危険な作業や道具があるので、慣れるためにもある程度長期的な取組みが必要。	従業員の高齢化が進んでいるが、生徒たちから元気もらえるので楽しくなる。

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
飲食業 (2社)	飲食業1	4	計画が立てやすかったと思う。	料理をおいしく盛るコツを知ってもらったことは、将来役に立つと思う。	初めての事を評価することはやめたほうが良い。	期日は連続してほしい。親が子どもを事業所まで送迎することも大切。	事業所で体験するのに、やる気がない、話を聞かない、口答えをするような子どもを学習させないでほしい。
	飲食業2	3	直接学校と打合せしたほうが、確実に伝わる気がする。	体験内容を時間で割って、営業中でもスムーズに仕事を体験してもらおうよう計画を立てた。	体調面。	どんな仕事をしているのか、仕事内容を細かくした内容を作ると良い。	私たちも、今の子と話ができて楽しかった。
商業販売 (18社)	商業販売1	2		生徒さんがシールを貼ったり、実際に形にしたお菓子を商品として販売した。	5日間は長い。		お客様からしてみれば、店員も体験学生も関係なくお店で働いている人です。体験学習を実施中だとわかるようなものがあるといいです。
	商業販売2	1	個々の学校からの問合せだと、特定の企業に偏ってしまうのではないかと。		余力のある時期でないと、対応が難しいことがある。		職場体験に適した職種というものがあるのかという気がする。本人の希望だけでなく、体験学習の目的に沿うものか。
	商業販売3	1	事前に業務計画等と調整ができ、受入れの準備ができる。		短期間のため、業務指導を細かく対応しなければならぬため、担当者の負担が増える。	他社での成功事例等の紹介があればよい。	
	商業販売4	1	学校との打合せが出来て、初の体験学習であったが生徒に喜んで体験してもらえた。	お客様との体面販売のときなど、言葉がはっきりして挨拶ができるようになった。	販売以外においては、生徒さんも初体験なので、何をすればよいのか考えさせられた。	学校側からの体験に対するアドバイスがあればよいと思った。	生徒さんの両親の方からも良い体験をさせていただいたというお礼もあった。
	商業販売5	3	このシステムの認識がなかったため、「アルバイトが体験学習を断った」と誤解をされてしまった。	清掃ばかりではなく、例えば、自分が今やっている部活動の商品に携わる仕事をもらった。	単純作業ばかりでないで、人数が多いと作業指示を出すのに苦労する。	どんな風に仕事をしているのか、中学生自身が行ってみたい職場を自主的に見学したほうがよい。	地域ごとに職場体験の時期を多少ずらしていただきたい。
	商業販売6	1	依頼の予想が付き、計画しやすいが、直接学校と打合せしたいときに不便だ。		担当者が1日6人程度必要となる。スケジュール調整に時間がかかる。		できるだけ早い申込みをお願いしたい。
	商業販売7	3	個人的な会社等では、簡単に連絡してくれれば良いと思う。		仕事に意欲を持たせるよう体験させた。		
	商業販売8	1	受入れ準備等スムーズにできた。	生徒たちが作ったものを商品として販売してあげた。	前もって持ち物を伝えてあっても、忘れ物をする生徒もいた。	今までどおりでよい。	受け入れ側も一生懸命対応するが、半分遊び感覚でこられると困る。
	商業販売9	2		生徒1人に対して1人の担当者をつけた。	・挨拶、人の話を聞く態度など基本的なことから教えなければならなかった。 ・事前連絡の時間が、予定なしでかかってくるが多く、お客様に迷惑をかけたしまった。 ・先生によっては、来店して写真を撮るだけで帰ってしまうため、こちらの要望が伝わらなかった。	普段の学校生活若しくは体験前に、ある程度注意することなどをきちんと教育してほしい。	事前打合せについて、生徒全員が連絡してくる必要はないのでは。注意点を話しても守れずに体験に来る生徒が多かった。

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
商業販売	商業販売10	1	事前にわかるので良い。		担当が1人必要なこと。		
	商業販売11	2			利用者と生徒が事故にあわないよう注意した。		いろんな職場を体験して、いろんな人と話をしたい。
	商業販売12	2		工場にて直接仕事に携わること。見てだけでなく、体を使って一緒に仕事をしてもらった。	・仕事を用意しておくこと。 ・担当者を用意すること。 ・安全に配慮すること。		・期間は3日くらいが良いと思う。5日は長いと感じる。
	商業販売13	1	受入日において、複数の学校が同じ日にならない点。	指導できる従業員が、受入日に出勤しているようローテーションを配慮した。	常に生徒の仕事があるよう状況を確認しておくこと、担当者を貼り付けなければならない点。	1つでも多くの事業所が受け入れをしてくれる取り組みが大切だと思う。	
	商業販売14	1		終了日に座談会の開催	担当社員の配置	毎年定められた日であれば計画しやすい。	
	商業販売15	1	日付による管理がしやすく、複数の学校のバッティングがなくなった。	生徒作成のPOPを使用。	仕事の多い日と少ない日がある。		
	商業販売16			商品を作り、良い物は販売した。	時間により、教える人が入れ替わるため、生徒に関する引継ぎ等		
	商業販売17	2					
	商業販売18	2	学校ごとの事情がある。		中学生ができる作業とできない作業の区分け。	その職場につく前に、事前に内容を理解しておく。	
食品製造業 (4社)	食品製造業1	1	生徒や学校にも迷惑をかけることが少なく済む。	仕事の大変さも楽しさも感じてほしいので、作った良いものは商品として店頭に出し、悪いものはお土産で持ち帰ってもらった。	突発的な出来事や、予期しないことが起きたときに、生徒の対応ができなかった。	地域全体に職場体験の理解と関心を持たせる様な働きかけが大切だと思う。	この地域の若者たちを定着させるためには、良いことだと思う。
	食品製造業2	1	スケジュールが立てやすく受入れやすい。	自分が食べてみたい商品を試作し、家庭に持ち帰り、家族に報告しながら一緒に食べてもらえるようにした。	怪我のないよう安全な研修ができるよう配慮した。	生徒が体験先を自ら選べるのであれば、事前に会社訪問などの機会を与え、興味ある職場を選択できるようにしたらどうか。	
	食品製造業3	1	市内中学校のダブリがなかった。ただし、郡部とのダブリが生じたので、全体での調整を取ってほしい。	一人一人を別々の部署に配置して体験してもらおう。	担当者に負担がかかる。	中学、高校ともに職場体験があるので、連携をとって取り組めたらよい。	
	食品製造業4	1	当社の希望が受けってもらいやすくなった。				
製造業 (11社)	製造業1	2	1工程増えた形で事務局の存在がある。				
	製造業2	2		いくつかの違った仕事を体験してもらおうようにした。(製造・研究・配達等)	中学生ができる仕事を用意すること。		目的を持って来てもらえると、受け入れる側も受け入れやすいと思います。
	製造業3	2		研修(実習)前に、なるべく時間を取り、仕事の心構えなどを通して、コミュニケーションを図った。	・実習寺の安全配慮 ・実習内容	学校と企業とのコミュニケーション(なるべくお互いの温度差を少なくさせる)	

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
製造業	製造業4	1	職場体験できる事業所が一定にないと思う。ただ、学校が教育委員会に任せきりになっているように思う。	・先生にも、生徒と同じ作業を体験してもらった。(半日) ・事前に事業所に来てもらい、打合せを行った。 ・なるべく完成品を見てもらえる職場に配置した。	体験してもらう実習内容	職場体験の様子を先生が見に来るが、来社される時間が予めわかるとありがたい。	
	製造業5	2	1校のみの受入れだったため	・受け入れ側の準備として、職場体験マニュアルを作り、事前打合せの際に生徒に渡した。 ・体験を、製造現場と同じフロアで行い、現場の雰囲気を感じてもらった。	限られた時間内で作業が完了するようにするための時間配分に苦労した。	受け入れ側の準備不足によって、子どもたちに失望感を与えないよう、職場体験のマニュアルなどを作り、準備を整える必要があると思う。	企業側の要望を聞いて生徒を決められると良いと思う。体験後のお礼の手紙を見ても、形式的で、体験に対しての具体的な感想がほとんど聞かれずがっかりしている。
	製造業6	1		製品製造工程の中に入ってもらっている。不良が判る工程にも入ってもらった。	実習職場の選定。		
	製造業7	1	学校個々の対応よりも効率的	当社の事業を知ってもらうため、初日に「会社説明会」の時間と、職場での作業が安全に行われるよう、「マナー教育」を実施した。	受入れ職場の確保	自社の取り組みの参考にさせていただき、それぞれの事業所の職場体験の内容を紹介してほしい。	地域で子どもを育てて生きたいが、寝不足で入社する子を見ていると、生活習慣もきちんとしていくことが大切だと感じる。
	製造業8	1		・社会に出ての生活態度 ・物作りの大切さとお金の生れること ・記念品を持たせた。		それぞれの企業の考え方があるので、それぞれに任せたらどうか。	景気の良い時期であれば受入は良いが、悪い時期だと難しい。
	製造業9	3	各校により目的や日数が異なる。	製造、検査、納入の3作業に分け、いろいろな経験してもらった。	学校により校風も違い、個人差もあり、指導のしがいがある。	3日以上体験してもらいたい。	体験後に、学校、父兄、事業主で話し合いをしたい。(工業高校では実施している。)
	製造業10	2	まとめて案内していただけることは助かるが、全ての学校の調整ができないと人数等確定されないため、当社のスケジュール的にはあまり変わらない。	ひとつの部署だけでなく、いくつかの部署の仕事を体験してもらった。	・人事部門での対応は限られており、忙しい中で他の部門で対応してもらうための調整に苦労した。 ・基準が厳しく、製造の現場では職場体験を受入れることができないため、体験してもらう仕事が限られた。	学校の都合だけでなく、企業の都合にも合わせて職場体験の日程を決めてもらえば、もっと受入れやすくなる。	とりあえず職場体験を実施することが目的となっていて、体験内容や学生本人の意図はあまり尊重されていない気がする。
	製造業11	4	初めてのことであったので。	製品の仕上げまで行ったものもある。	仕事が減り、本来体験してもらいたいことができなかった。	受け入れ側が、ある程度説明できるような機械があると良いと思う。また、それについて勉強会などがあると良い。	
税理士・会計士 (2所)	税理士・会計士1	1	特に不便に思うことはなかった。	日常業務をなるべくそのまま、私たちと同じように仕事をしてもらうよう考えて用意した。	得意先に迷惑にならないよう配慮した。守秘義務のある仕事が多いので、相手が特定しにくいよう配慮した。	この業種は複数の生徒の受入れが困難なので、より多くの事業所に協力してもらえるように考えたらよいのでは。	学区内の事業所に協力してもらえば、送迎等の手間が省けるし、学生に対する思い入れも強くなるのでは。

業種	事業所名	問1	問1の理由	問2	問3	問4	問5
税理士・会計士	税理士・会計士2	4	従前の仕組みがわからない。	一般的になじみが薄い仕事のため、初日の午前中は税の講義学習をした。	従業員が少ないことと、仕事が単純作業的なことしかやらせることがなく、スケジュールを決めるのに苦労した。	親の職場に行き、親が働いている姿を見るほうがいい刺激になるのではないかな。	
農園 (1園)	農園1	2	こちらの希望する日程での受入は中々不可能と思われる。(観光業のため、土日祝祭日に本当は来てほしい。)	・希望する仕事をなるべくできるよう調整した。 ・アップルパイ作りをしてみたいという生徒の希望に応えた。	・観光農園という職種上、本来は観光客が多いときに来て体験してもらいたいが、受入日と観光客の数が一致しないときに少し困った。	各事業所ごとの都合があるので、地域全体とした取り組みを行っても、中々難しいのでは。	生徒それぞれに個性があり、個人差がある。その個人差を受け入れ側が対応するのは難しいので、学校での指導をもう少し充実してもらいたい。
廃棄物処理業 (1社)	廃棄物処理業1	1			トラック等の出入りが多いので、特に注意した。		
報道機関 (4社)	報道機関1	4	下半期の希望を再要請したが、なかったために学校に受入れ不能ととられてしまった。	記者に同行。新聞ができるまでを知ってもらいながら、記者の日常の仕事を理解してもらった。	交通事故など、生徒の安全確保		照会時期を1～2ヶ月前にしてもらえると助かる。
	報道機関2	3	従前のほうが確実。有無も即答できる。	体験文を記事で取り上げた。	同じ仕事ばかりとはいかないので、探すのに苦労する。個人情報もあるため仕事が限られる。	各企業へ少人数で行かれたほうが良い。	体験日数は、1～2日がベスト。
	報道機関3	1	事務局からの調整のうえ連絡いただけるので、大変ありがたい。	実際の生放送に出演してもらったり、10分番組を自分の手で制作してもらい、そのMDをプレゼントした。	多忙な時期と重なってしまったため、スケジュール調整が大変だった。	学校・事務局・企業の連携が強くなるといいと思う。	
	報道機関4	1	受入れられる人数に限りがあるので助かる。		少人数の会社なので、毎回大変。	他町村との調整をとっていただけるとありがたい。日が重なると大変である。	以前に比べ、無気力な生徒は減ってきたように思う。生徒が希望する職場、業種を体験させることが大切だと思う。
薬局 (1所)	薬局1	2	受入れ人数が少ないので、細かな打合せは学校とするため。	新人や若手職員を担当に付け、生徒たちが質問等をしやすいよう工夫した。	一日中ほとんど立ち仕事なので、生徒たちの体調に気を使う。	他の事業所がどんな様子で受入れているのか、情報交換があると良い。	
理美容業 (1社)	理美容業1	3	個々の学校からの問い合わせのほうが話がしやすい。	美容の仕事を見るだけでなく、シャンプーやブローなどを実際に体験させてあげた。	毎日担当者を貼り付けなければならない。お手伝いだけでは満足できない。		実際の職場に出て体験できることはいいことだと思う。自分の子どもから手離れてから出すと気を使う。
旅館業	旅館業1	1		事前に希望職種を聞き、なるべく添えるようにした。	目標を持って体験に望むことへの意識が低い。	職種内容の提示を明確にすることで体験への意欲が出るのではないかな。	事前に職場体験の心構え等を企業に伝えることが必要。
旅館業	旅館業2	2		特別のプログラムを組まないで、実際の業務を体験させたこと。	接客業のため、お客様の前に出るので、基本的な礼儀等を教えなければならない点。		職場体験の意義を、学校・教育委員会サイドと受入サイドで、統一しておく必要がある。スタンスが違くと、生徒への接し方も変わってしまう。
旅館業	旅館業3	1	全体の日程が把握できて受入れやすかった。	生徒ができる仕事として可能な仕事内容の職場を提供した。	安全性		今回受入れた生徒は、挨拶もよくできて気持ちよく仕事できた。
旅館業	旅館業4	1	一生懸命掃除をしてもらったり、お客様にも元気に笑顔で挨拶できた。	できるだけ多くのお客様と接する機会を作った。	お客様に失礼のないよう、常に一緒に行動していたこと。	多くの職種で体験できる体制作りをしていくと良い。	

